

コイヘルペスウイルス病の発生について

経緯

- 平成22年6月24日から25日にかけて南アルプス市の個人池でコイ3尾の死亡が確認された。

詳細内容

- 3尾の死亡魚について、水産技術センターでPCR法によるコイヘルペスウイルス（KHV）の一次診断を行ったところ、検査した検体3尾中3尾から陽性反応があった。
- 6月28日に確定診断のため、（独）水産総合研究センター養殖研究所に3検体を送付したところ、全て陽性であり、KHVであることが6月30日に確定した。

対応状況

- まん延防止のため、池の管理者に飼育しているコイの移動禁止および死亡魚の適切な処分を要請した。

【人体への影響について】

この病気は人に感染しないため、仮に感染したコイを食べても人体に影響はありません。冷静な対応をお願いします。